

## 契約書添付仕様書

(必要なものに○印をつける)

### ※ 土木、建築工事関係

#### ○土木工事共通仕様書

公共建築工事標準仕様書（建築工事編）

公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）

公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）

公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）

公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）

公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）

建築物解体工事共通仕様書

木造建築工事標準仕様書

#### ○特記仕様書の場合

（静岡県週休2日推進工事（土木工事等）特記仕様書）

（工事監理連絡会特記仕様書）

（江間トンネル 受配電・発電設備 機器仕様書）

（仮設キュービクル 機器仕様書）

### ※ 業務委託関係

測量作業共通仕様書

用地調査等共通仕様書

工損調査共通仕様書

地質・土質調査共通仕様書

土木設計業務等共通仕様書

特記仕様書の場合

（ ）

## 工事監理連絡会 特記仕様書

### 第1条 「工事監理連絡会」の目的

本工事は、工事着手前に当該工事の工事請負業者、その設計を担当したコンサルタント等及び発注者が参加して、設計図と現場の整合性の確認及び設計意図の伝達等を行う「工事監理連絡会」を設置し、当該工事に関し必要な設計変更の内容の確定、その実施者、負担者を明確にするものである。

### 第2条 開催

「工事監理連絡会」は、施工業者が発注者へ施工計画書を提出する前に実施するものとし、発注者に「工事監理連絡会」の開催を要請する。また、工事着手後に問題等が発生した場合にも発注者と協議のうえ開催を要請する。

### 第3条 出席者

施工業者は、「工事監理連絡会」に現場代理人及び監理技術者の2名の出席を標準とする。

### 第4条 協議内容

「工事監理連絡会」では、契約図書である設計図等と現場の整合性、設計意図を確認したうえで、当該工事に関し必要な設計変更の内容を確定するとともに、その設計図等の修正実施者及び費用負担者を調整・決定するものとする。

2 工事請負業者は、別添「設計図書の照査ガイドライン」により設計照査等を実施し、監督職員に確認できる資料及び質問書を書面により提出し、確認を求めることができる。「設計図書の照査ガイドライン」にない工種は、本ガイドラインに準拠できるものがあれば、発注者と協議し運用できるものとする。

3 工事請負業者は、発注者及びコンサルタント等に施工計画について説明を行う。

### 第5条 報告書

協議結果については、工事請負業者が報告書にまとめ発注者に提出するものとする。

### 第6条 コンサルタント等への費用

発注者が指示するコンサルタント等には、「工事監理連絡会」の打合せ費用として、業務価格に計上してある金額を開催後速やかに支払うものとする。

静岡県 週休2日推進工事（土木工事等）特記仕様書  
（発注者指定型）

第1条 目的

本特記仕様書は、週休2日の実施に伴い必要となる事項を定め、建設現場において週休2日の取得が可能な環境づくりを推進し、労働環境を改善することを目的とする。

第2条 用語の定義

本特記仕様書において用いる用語は次のとおりとする。

(1) 週休2日

対象期間において、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

(2) 対象期間

工期のうち、準備期間と後片付け期間を除く期間をいう。ただし、年末年始休暇（6日間）、夏季休暇（3日間）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている期間は含まない。

(3) 現場閉所

対象期間において、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。なお、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除く。

(4) 現場閉所率

対象期間における現場閉所日数の割合（現場閉所日数/対象期間日数）で算定する。現場閉所率が28.5%以上の場合を4週8休以上、25%以上28.5%未満を4週7休以上4週8休未満、21.4%以上25%未満を4週6休以上4週7休未満とする。

(5) 月単位の週休2日

対象期間の全ての月において、週休2日の状態をいう。

ただし、暦上の土曜日、日曜日の日数の割合が28.5%に満たない月においては、当該月の土曜日、日曜日の合計日数以上の現場閉所（現場休息）を行っている状態をいう。

(6) 通期の週休2日

対象期間の現場閉所率が28.5%以上の状態をいう。

第3条 実施方法

週休2日推進工事の実施方法は次のとおりとする。

(1) 受注者は、現場着手日までに4週8休以上の現場閉所計画表を監督員に提出し、

これに基づき施工を行う。なお、受注者の責めに帰すことができない理由により実施が困難な場合には、対象期間開始前に受発注者間協議を行うこととする。

(2) 受注者は、計画に変更が生じた場合には、その都度変更の現場閉所計画表を監督員に提出する。

(3) 監督員は、受注者に工事記録簿等の資料を求め、現場閉所率について確認を行う。なお、規定の現場閉所を行ったと認められない場合には、現場閉所率に応じた費用計上による変更契約を行うものとする。

#### 第4条 費用の計上

別に定める「週休2日推進工事積算要領」に基づき、費用の計上を行うものとする。

#### 第5条 工事成績における評価

工事成績評定の対象となる工事にあつては、現場閉所率に応じて以下のとおり「創意工夫」項目で加点を行うものとする。

(1) 月単位の週休2日の場合は、2点を加点する。

(2) 通期の週休2日の場合は、1点を加点する。

#### 第6条 達成証明

規定の現場閉所が確認された場合は、その達成状況を工事検査結果通知書により発注者から受注者に通知する。

江間トンネル 受配電・発電設備  
機器仕様書

静岡県道路公社

## 1. 概要

### 1-1 適用範囲

本仕様書は、静岡県道路公社（以下「公社」という）が実施する伊豆中央道江間トンネルの受配電・自家発電設備更新工事に適用する。

### 1-2 工事概要

#### (1) 路線名

伊豆中央道

#### (2) 工事場所

伊豆の国市北江間地内

#### (3) 工事範囲

本工事は、既設受配電・自家発電設備機器の撤去並びに、新設機器を設計製作し、工場内において各種試験を行った後、当該現場に搬入し、据付、試運転調整までを行うものである。

#### (4) 工事内容

受配電・自家発電設備更新工事 1式

### 1-3 関係法令及び規格基準

本工事は次の法令、規格等に従い施工する。

- (1) 土木関係電気工事仕様書（静岡県）
- (2) 電気通信設備工事共通仕様書（国土交通省）
- (3) 土木工事共通仕様書（静岡県）
- (4) 日本工業規格（JIS）
- (5) 日本電気規格調査会標準規格（JEC）
- (6) 日本電機工業会基準規格（JEM）
- (7) 電気用品安全法
- (8) 電気設備技術基準
- (9) その他関係法令規則

## 2 機器仕様

### 2-1 一般事項

#### 2-1-1 使用場所

屋内形とする。

#### 2-1-2 周囲環境

JEM-1425 による。

- |        |      |                    |          |
|--------|------|--------------------|----------|
| (1) 温度 | 屋内   | -5℃～+40℃（平均 35℃以下） | ：受配電盤    |
| 温度     | 屋内   | 0℃～+40℃（平均 35℃以下）  | ：無停電電源装置 |
| (2) 湿度 | 相対湿度 | 45%～85%（結露なし）      |          |
| (3) 高度 | 標高   | 1,000m以下           |          |

#### 2-1-3 電気方式

受電 交流三相 3 線式 6.6kV 50Hz

#### 2-1-4 主回路方式

受電 1 回線受電

母線 単一母線

#### 2-1-5 商用周波数耐電圧

JEM-1425 による。

6kV 回路	対地間	22,000V（6A 号）
400V 回路	対地間	2,000V
200/100V 回路および制御回路	対地間	2,000V

ただし半導体回路は除くものとする。

#### 2-1-6 盤の塗装仕様

##### (1) 塗装仕様

塗装は前処理を十分行った後着手するものとし、下塗り、中塗りの後、メラミン樹脂塗料による焼付け仕上げとし、膜厚 40 μm 以上とする。

## (2) 塗装色

JEM-1135 による。

屋内配電盤表面	マンセル	5Y7/1 (半艶)
屋内配電盤内面	マンセル	5Y7/1 (半艶)
内部パネル	マンセル	5Y7/1 (半艶)
計器、継電器枠	マンセル	N1.5
制御開閉器把手	マンセル	N1.5

### 2-1-7 部品の互換性

使用部品および組立部品で、同種同一定格のものは互換性のある部品を用いること。

### 2-1-8 器具および導体の配置と色別

JEM1425 による。なお主回路の端末にはビニールテープ、カラーシールあるいはキャップにより次のとおり相色別を施すものとする。

- 第 1 相 (R 相) . . . . 赤
- 第 2 相 (S 相) . . . . 白
- 第 3 相 (T 相) . . . . 青
- 第 4 相 (N 相) . . . . 黒

### 2-1-9 配線方式

電線の種類および電線被覆の色別は JEM-1425 による。

ただし、次の場合は適用外とする。

- 1) 主回路に特殊な電線を使用する場合。
- 2) シールド電線など特殊な電線を使用する場合。
- 3) 電子回路などの小勢力回路の配線および継電器などの器具内配線

### 2-1-10 主回路導体

高圧回路の主回路は、銅導体とする。ただし、銅導体では接続が困難な箇所（計器用変圧器の一時、零相変流器の一次、主変圧器の一次側引込み部）は、電線によるものとする。また、低圧回路は電線を原則とするが、電流の大きいものは銅導体を使用してもよい。

### 2-1-11 盤名称板

盤の前面および後面に取付ける。盤名称銘板の仕様は JEM1425 により次のとおりとする。

- 名称銘板の大きさ : 63×315 (mm)
- 名称銘板の材質 : 樹脂 (アクリル樹脂板)
- (非照光式)

## 2-2 機器構成

### 2-2-1 受配電設備

項目	単位	数量	備考
PAS(柱上用 SOG 開閉器)	面	1	GR 方向付
引込盤	面	1	VCT (電力会社支給品)
受電盤	面	1	DS, VCB7.2kV 400A
主変圧器盤	面	1	150kVA モールド
所内盤	面	1	100kVA モールド
照明制御盤	面	1	ATL 含む
照明動力盤	面	1	
保守切換盤 2 改造	面	1	
保守切替盤 3	面	1	DT-SW
予備品・付属品	式	1	

### 2-2-2 自家発電設備・非常電源設備

項目	単位	数量	備考
ディーゼル発電装置	台	1	125kVA 以上 搭載型 85dB(A)
燃料小出槽	台	1	250L
給気ファン	台	2	発電機室内設置
予備品・付属品	式	1	









### 2-3-5 照明制御盤

#### (1) 正面取付け器具

1 枚 名称銘板 アクリル製 記入文字「照明制御盤」

1 式 照明制御用スイッチ

1 個 扉ハンドル タキゲンA—140—1

地絡 過電流

#### (2) 背面取付け器具

1 枚 名称銘板 アクリル製 記入文字「照明制御盤」

#### (3) 盤内収納機器

1 台 配線用遮断機 50AF20AT

3 台 電磁接触器

1 台 自動調光装置

#### (5) 外径寸法

屋内鋼板箱 幅700×高さ2350mm×奥行800mm程度

### 2-3-6 照明動力盤

#### (1) 正面取付け器具

1 枚 名称銘板 アクリル製 記入文字「照明動力盤」

1 個 扉ハンドル タキゲンA—140—1

#### (2) 背面取付け器具

1 枚 名称銘板 アクリル製 記入文字「照明動力盤」

#### (3) 盤内収納機器

1 1 台 配線用遮断機 50AF20AT

5 台 電磁接触器

1 1 台 零相変流器

1 1 台 地絡過電流継電器

#### (4) 外径寸法

屋内鋼板箱 幅800×高さ2350mm×奥行800mm程度

### 2-3-7 保守切換盤 3

#### (1) 正面取付け器具

- |     |       |        |               |
|-----|-------|--------|---------------|
| 1 枚 | 名称銘板  | アクリル製  | 記入文字「保守切換盤 3」 |
| 1 個 | 扉ハンドル | タキゲン A | — 1 4 0 — 1   |

#### (2) 盤内収容機器

- |     |        |            |
|-----|--------|------------|
| 1 台 | 配線用遮断機 | 100AF100AT |
| 1 台 | 双投スイッチ | 100A       |
| 1 台 | 双投スイッチ | 160A       |

### 2-3-8 保守切換盤 2 改造

容量変更による、端子台の変更、及び保守切換盤 3 に接続するための端子台を追加すること。

## 2-3-9 自家発電設備

(1)形式 キュービクル 自立型

### (2) 発電機

型式	開放保護形回転界磁式
定格出力	125kVA 以上
相数	3 相
定格電圧	415V
周波数	50Hz
極数	4 極
力率	80%遅れ
励磁方式	ブラシレス式
絶縁種別	B 種以上

### (3) ディーゼル機関

定格出力	116kW 以上
出力軸回転数	1,500rpm
冷却方式	ラジエータ冷却
始動方式	セルモータによる電気式
使用燃料	軽油
運転時間	長時間形

### (4) 消音装置

低騒音型	85dB
------	------

### (5) 燃料小出槽

容量	250L
----	------

### (6) 寸法

幅 3400mm×高さ 2320mm×奥行 1300mm 程度  
発電機室に設置できる寸法とする。

### (7) その他

排風、排気ダクトの接続含む

## 2-3-10 給気ファン

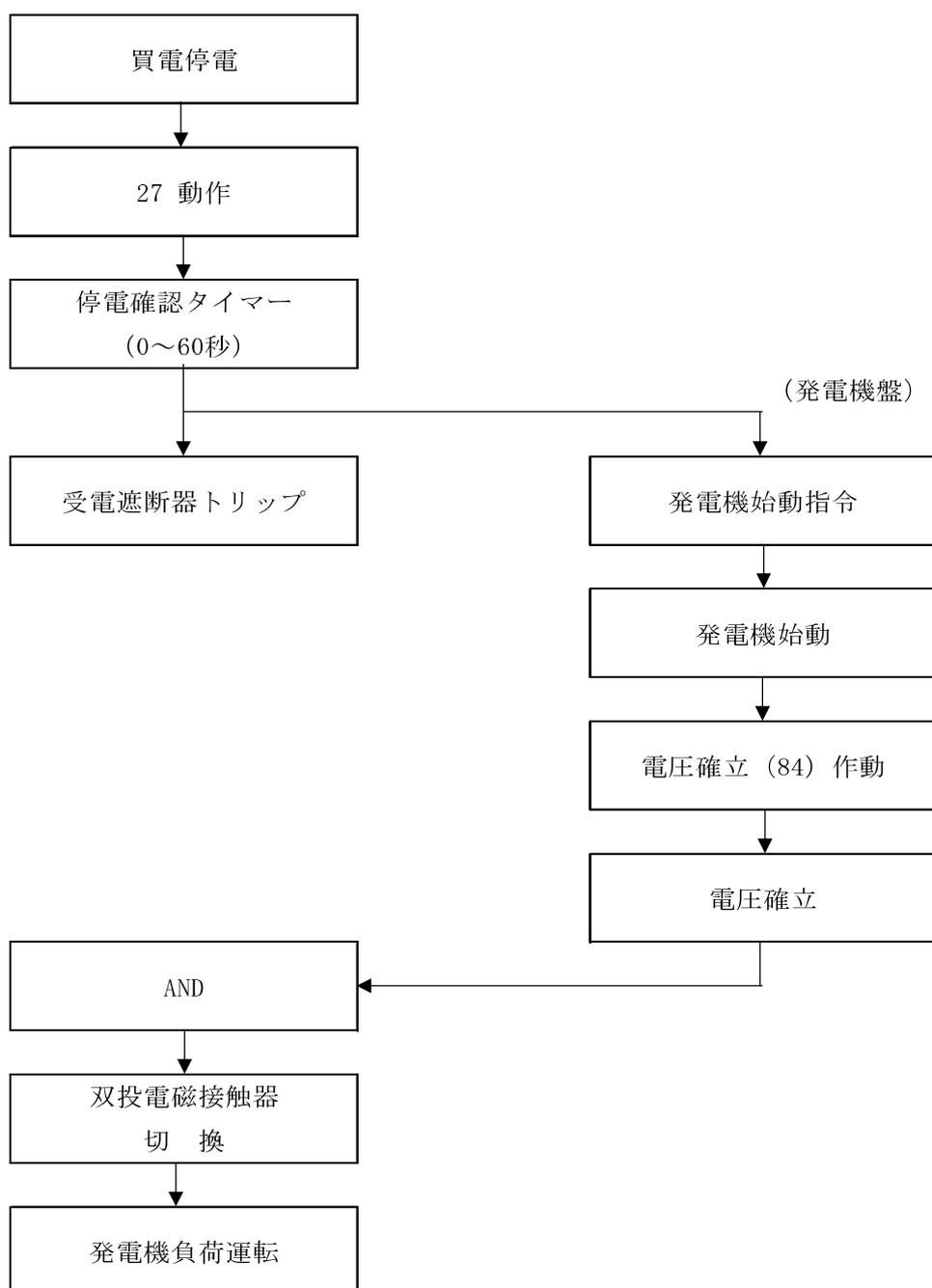
公称羽根径	50cm
公称出力	400W
定格電圧	200V
周波数	50Hz
風量(給気)	5590m <sup>3</sup> /h

## 2-4 制御方式

本設備の監視制御は、各盤の盤面で行うものとする。

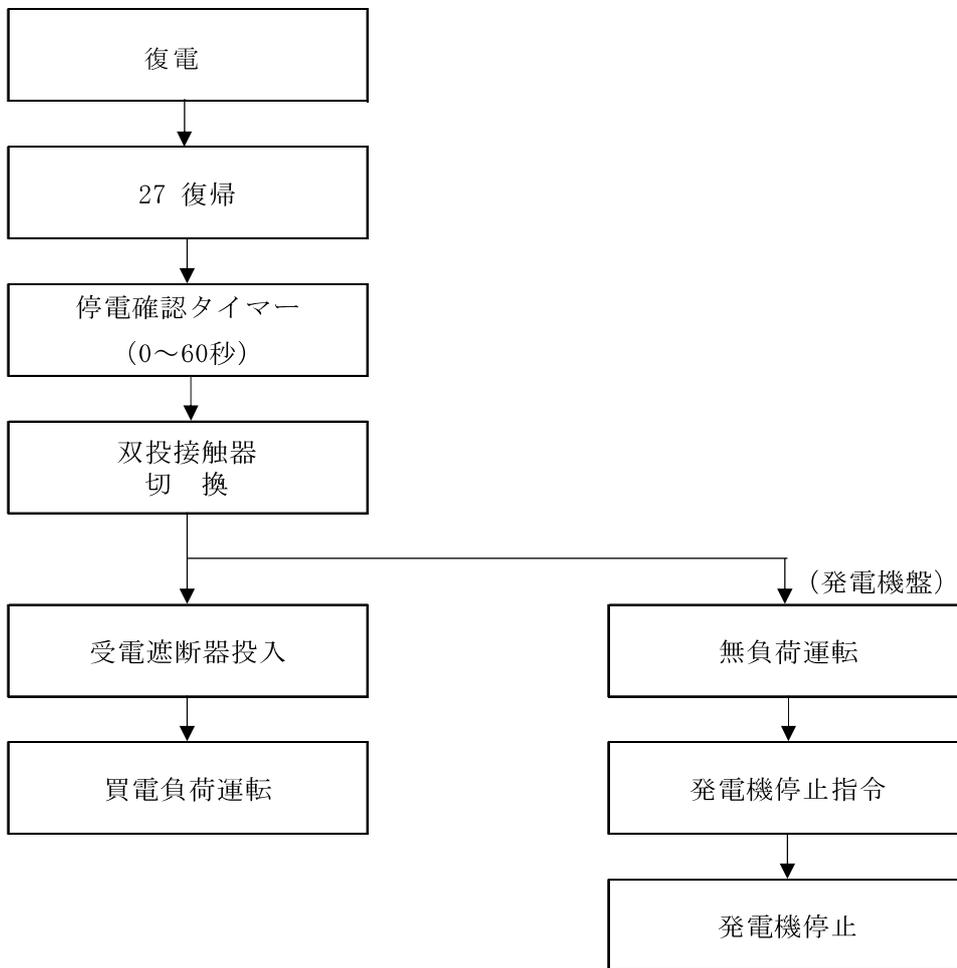
### (1) 買電停電時の自動制御

切換スイッチが「自動」時に買電が停電すると次の動作を自動的に行うものとする。



(2) 買電復電時の自動制御

切換スイッチが「自動」時に買電が復電すると次の動作を自動的に行うものとする。



(注) 高圧引込主回路用の 51GR、51R 動作による停電の場合は、事故原因が復旧するまで、受電遮断器等の投入操作を行うことができない制御とすること。

## 2-5 予備品・付属品

### 2-5-1 予備品

予備品は下記とする。

品名	数量	備考
各種ヒューズ	100%	
発光ダイオード	各種1個	
各種表示灯グローブ	20%	
配線用遮断器	1個	3極
電磁接触器	1個	3極
補助継電器	各種1個	
自家発用標準予備品	1式	
その他必要なもの	1式	

### 2-5-2 付属品

付属品は下記とする。

品名	数量	備考
遮断器引出レール	1組	
遮断器ハンドル	1式	
変圧器引出レール	1式	
試験端子用プラグ	1組	
保護継電器用プラグ	1組	
扉ハンドルキー	1個	
断路器操作ハンドル	1本	
蓄電池用標準工具	1式	
機関用標準工具	1式	
その他必要なもの	1式	

江間トンネル受変電自家発設備  
仮設キュービクル（レンタル品）  
機器仕様書

静岡県道路公社

## 1. 概要

### 1-1 適用範囲

本仕様書は、静岡県道路公社（以下「公社」という）が実施する伊豆中央道江間トンネルの受配電・自家発電設備更新工事に使用する仮設キュービクル（レンタル品）に適用する。

### 1-2 設置場所

伊豆の国市北江間地内

## 2 機器仕様

- ・ CB受電 3面体 屋外型（H鋼架台含む）
- ・ 入力 3Φ3w 6.6kv 50Hz 120kVA以上 1系統
- ・ 出力 3Φ3W 415V-240V 60kVA以上 1系統  
3Φ4W 182/105V 33kVA以上 1系統  
3Φ3W 210V 14kVA以上 1系統

## 3. レンタル期間

1ヶ月